

病院長就任のご挨拶

昭和大学病院 病院長 さかうひろのり
相良博典



相良博典 新病院長

このたび、昭和大学病院長を拝命いたしました。板橋家頭夫前病院長のもとで副院長として3年間勤め、色々な学びを得ることが出来ました。それらをさらに発展させるべく邁進したいと思えます。

昭和大学病院の思想的な柱として、「**患者さん本位の医療**」、「**高度な医療の推進**」、「**医療人の育成**」という三つの理念があります。

「患者さん本位の医療」を実践の前提は、安全で安心な医療を提供することです。この要となるのが「**チーム医療**」です。患者さんには多職種の医療者が関わりますが、それぞれに視野も視座も見方も異なります。それぞれの専門性から「最適な」医療を主張するために、見解の違いも生じます。異なる立場の意見を切り捨てることは簡単です。

しかし、それらの意見は、その患者さんにとっての安全安心な医療のために考えられている限りにおいて、どれ一つとして無意味なものはないと考えます。見方によって「事実」は異なります。必要なのは、患者さんにとって必要な医療という「真実」です。刻一刻と状況は変化し、時間も限られており、様々な制約がある。そのように難しい場面で、私たちを真実に至らしめるのは、唯一、「チーム医療」だと信じています。多職種が垣根を超えて議論し、平面的な情報が立体的になり、現象に因果が見えてきます。それぞれが専門という顕微鏡で見ながら、全員が一つの望遠鏡を覗き込み、患者さんの望むことを見出す。これがチーム医療の目指すものです。病院長として、あらゆる医療者が立場を超えて本音の対話ができるような組織風土の醸成に力を注いでいきたいと思えます。

チーム医療は、院内で完結するものではありません。地域では生活者として暮らしている患者さんの日常を知り、支えているのは**地域の先生方**です。病院と地域における立場を超えた対話は、最適かつ安全安心な医療を実現するために、決定的に重要なものです。地域との顔が見える関係が維持できるよう、最大限配慮していきたいと思えます。

「高度な医療の提供」は、大学病院に期待される重要な使命です。医療の進歩とは、日進月歩です。常に、「現在の最適解は、未知なる領域を残した不完全である」との認識をもとに、**医療を先進させる**ことが必要です。現在日常的に用いられている医療技術の多くが、かつては、高度先進医療とされていた医療技術です。つまり、我々の実践は、今後の医療における試金石であり、これからの医療の発展に、欠かせないものです。このような医療を実践するにあたって、十分な安全の確保が最も重要であると認識し、不断の努力を行っていきます。

前述した「患者さん本位の医療」も「高度な医療の提供」も「医療人の育成」無くしてはなし得ません。この点において、「医療人の育成」は、最も重要な使命と考えます。

企業経営における常識として「従業員満足なしに顧客の満足なし」という考え方がありますが、医療界でこのような考え方が重視されることは多くありません。人命を預かる以上、重大な責任が伴う仕事であることは紛れもない事実ですが、医療者の満足感や幸福感がハイライトされることは滅多にありません。働き方改革とは、医療者が仕事にも生活にも満足感や幸福感が得られるように、従来の価値観に縛られた働き方を変革していくことだと考えます。

ワークシェアやタスクシフトは、それらの実現の鍵の一つとなると考えております。必要なことは、現状の延長で考えることではありません。まずは、**患者さんのための「チーム医療」を実践すること**が必要です。そして、「現在の最適解は、改善の余地がある」との認識に基づき、これまでの方法と比較して、Different/New/Better なことを、具体的に考えていくことが重要です。昭和大学病院の誰もが、**毎日の、一歩ずつの改善をチームで祝い、互いの成長を喜び、充実した毎日に感謝し、幸せを感じることができる。**そのような理想に向かって、愚直に努力していきたいと思えます。よろしく願いいたします。

2020年4月1日より腎移植センターを開設いたしました。

私達の MOTTO



腎移植センター

センター長：

◆吉武 理 准教授

Osamu Yoshitake

(消化器・一般外科)

【略歴】 1990年 群馬大学医学部卒業

1997年 東京女子医大第三外科助手

2000年 千葉西総合病院移植外科医長

2001年 昭和大学一般・消化器外科助手

2014年 昭和大学消化器・一般外科講師

講師：

◆加藤 容二郎

(消化器・一般外科)

【卒業大学/年】

1997年 群馬大学医学部卒業

【現職】 日本外科学会 専門医/指導医、日本移植学会 移植認定医/代議員

日本臨床腎移植学会 認定医、日本透析医学会 専門医/指導医

私達の特徴

特徴 1 歴史に根差す医療

国内でも昭和大学病院の腎移植の開始は早く、世界の黎明期まで遡り、50年を超える歴史と実績を有しています。

当センターはより多くの腎不全患者さんの希望を叶えるべく、移植認定医が常勤し移植を中心とした診療に特化したセンターとして、新たに設立されました。

特徴 2 単一のユニット

当センターは診療科間の垣根を越えた、チーム医療に適した単一のユニットで腎移植に関わる最も重要な領域の診療をカバーします。

特徴 3 腎移植の専門施設

生体腎移植/死体腎移植を含めたあらゆる症例に対応します。昭和大学病院は、移植学会および臨床腎移植学会によって定められた生体腎移植実施基準を満たし日本臓器移植ネットワークの指定する移植施設です。

特徴 4 高度な診療

生体腎移植では血液型不適合や免疫学的高リスク症例などの困難な症例についても積極的にを行い、良好な結果を得ています。

特徴 5 幅広い対応

当センターは腎移植に加えて腎不全の患者さんが必要とする外科治療へ幅広く対応します。

特に、透析アクセス（血液透析、腹膜透析）や副甲状腺機能亢進症への外科治療においても豊富な経験を有しています。

医療連携室を通じて昭和大学病院腎移植センターへ患者さんの紹介、および予約をすることができます。

また、お急ぎの時にはスタッフへ直接お繋ぎします。

■医療機関専用回線：03-3784-8400（月～金曜 8：30～18：00 土曜 8：30～17：00）

■患者専用回線：03-3784-8419（月～金曜 8：30～17：00）

新規配属医師

【附属施設から】2020年4月1日付

- 整形外科：太田真隆（藤が丘病院より）、篠原大地（藤が丘病院より）、菱澤亨（藤が丘病院より）、朝倉智也（藤が丘病院より）、八木敏雄（藤が丘病院より）、黒田拓馬（横浜市北部病院より）、関水壮哉（横浜市北部病院より）、工藤理史（江東豊洲病院より）、栃尾秀典（江東豊洲病院より）、金澤臣晃（江東豊洲病院より）、土師野良真（江東豊洲病院より）
- 消化器・一般外科：柴田英貴（横浜市北部病院より） ●脳神経外科：坂口顕弘（藤が丘病院より）
- リウマチ・膠原病内科：猪狩雄蔵（江東豊洲病院より） ●リハビリテーション科：飯島伸介（横浜市北部病院より）、吉富明利（藤が丘リハビリテーション病院より） ●臨床病理診断科：小原淳（横浜市北部病院より）
- 脳神経内科：大橋英朗（横浜市北部病院より）、小室浩康（江東豊洲病院より） ●眼科：藤澤邦見（横浜市北部病院より）
- 救命救急科：宮本和幸（藤が丘病院より） ●放射線科：清野哲孝（江東豊洲病院より）、栗原真南（藤が丘病院より）
- 形成外科：住永莉華子（藤が丘病院より）、福田貴巳佳（藤が丘病院より） ●循環器内科：磯村直栄（藤が丘病院より）、横田裕哉（藤が丘病院より） ●耳鼻咽喉科：村山正和（藤が丘病院より） ●小児科：氏家岳斗（藤が丘病院より）、長谷部義幸（横浜市北部病院より）、高瀬真理子（江東豊洲病院より）、豊田純也（江東豊洲病院より）、涌嶋理那（江東豊洲病院より）
- 産婦人科：牧野吉朗（江東豊洲病院より） ●呼吸器外科：氷室直哉（横浜市北部病院より）
- 麻酔科：金田有理（藤が丘病院より）、佐々木友美（藤が丘病院より） ●心臓血管外科：中川由加里（江東豊洲病院より）

【学外研修から】2020年4月1日付

- 腎臓内科：宮澤望、阿部真希 ●糖尿病・代謝・内分泌内科：竹鼻伸晃 ●消化器内科：音山裕美、西原成俊
- 血液内科：中田彩香 ●小児科：八木直美 ●循環器内科：新井脩平、飛鳥井邑 ●脳神経内科：石田敦士、正路大樹
- 消化器・一般外科：千葉誠也、高野弓加、佐藤義仁、望月清孝 ●呼吸器・アレルギー内科：河原朋子、三國肇子

【新規採用】2020年4月1日付

- 呼吸器・アレルギー内科：池田均、鬼塚千慧、佐藤陽子、後藤唯子 ●脳神経内科：菊地優一、島田豪、中西達彌、松岡馨
- 糖尿病・代謝・内分泌内科：井上彩、西野優里、陶山友里恵、高畑洋 ●消化器内科：鈴木統大、大西良尚
- リウマチ・膠原病内科：郡司竜太郎、清水国香、城川泰司郎、小西典子 ●腫瘍内科：松隈聡 ●循環器内科：住田有弘
- 腎臓内科：神林由衣、小林慧祐、黒岩理沙 ●乳腺外科：柴山かれん、百石莉紗、村上祐季、吉田伶香
- 脳神経外科：小林宥大、中村友宣、吉澤卓也、佐藤常志、九社前実香 ●麻酔科：吉川春花、藤田彩恵
- 消化器・一般外科：大浦敬介、片山諒、渡邊健 ●集中治療科：元山宏展、喜久山和貴、大杉浩一
- 整形外科：石田憲太郎、鬼丸悠、神蘭育、久保祐太郎、古閑恒輝、津金雄太、長谷川碩、岡野市郎、谷聡二
- 腎移植センター：加藤容二郎 ●放射線科：今井里香、関本篤人、樋口舞香 ●臨床病理診断科：池田宏美、大平泰之
- 産婦人科：荒井理沙、木村剛、下川貴志、関谷葵、高橋華子、堀祥子、三浦瑠衣子、山本弥広、渡邊文乃、島津和仁
- 皮膚科：桜井隆喜、佐々木大和、土持花奈子、西村望、濱本龍典、村田幸之輔、和泉光晃 ●泌尿器科：天野悟志、水沼萌
- 耳鼻咽喉科：河村奈緒、関野恵里子 ●救命救急科：杉本達也、原野康平、屋間楓、渡邊茂也 ●眼科：安達まい、福岡聖也
- 小児科：桑原春洋、安達昌功、出納達也、富永瑛里子、吉田百合香、古川和奈、本多愛子
- 小児循環器内科：喜瀬広亮

異動

【附属施設へ】2020年3月30日付

- リウマチ・膠原病内科：西見慎一郎（横浜市北部病院へ）、石井翔（横浜市北部病院へ）

【附属施設へ】2020年4月1日付

- 整形外科：津澤佳代（横浜市北部病院へ）、久保和俊（江東豊洲病院へ）、上條翔太郎（昭和大学医学部生体調整機能学へ）、皆川裕人（藤が丘病院へ）●眼科：菊池孝哉（横浜市北部病院へ）、和田清花（江東豊洲病院へ）
- 脳神経内科：浅野末希（藤が丘病院へ）、栄良樹（横浜市北部病院へ）、飯塚奈都子（江東豊洲病院へ）、イズテプスキ彬子（江東豊洲病院総合診療科へ）●救急診療科：前田敦雄（藤が丘病院救命救急科へ）
- 血液内科：村井聡（昭和大学医学部臨床病理診断学へ）、塚本裕之（藤が丘病院へ）
- 産婦人科：池本舞（藤が丘病院へ）、小林友紀（横浜市北部病院へ）●放射線科：宮上修（江東豊洲病院放射線診断科へ）、金井貴宏（藤が丘病院へ）●消化器内科：神田優美（江東豊洲病院へ）●脳神経外科：長塚大騎（横浜市北部病院へ）、三鬼侑真（藤が丘病院へ）、光樂泰信（江東豊洲病院へ）●麻酔科：合田廷大（藤が丘病院へ）、小島衣里加（江東豊洲病院へ）
- 頭頸部腫瘍センター：粟倉秀幸（藤が丘病院耳鼻咽喉科へ）●耳鼻咽喉科：藤居直和（江東豊洲病院へ）、甘利泰伸（藤が丘病院へ）●呼吸器外科：植松秀護（横浜市北部病院へ）●小児科：服部透也（藤が丘病院へ）、浅井秀幸（横浜市北部病院へ）、水越曜子（横浜市北部病院へ）、城所励太（江東豊洲病院へ）、高木俊敬（江東豊洲病院へ）
- 糖尿病・代謝・内分泌内科：義間大也（江東豊洲病院へ）●呼吸器・アレルギー内科：伊田瞳（江東豊洲病院へ）
- リウマチ・膠原病内科：三輪裕介（横浜市北部病院へ）、小黑奈緒（江東豊洲病院へ）●形成外科：幸地茉莉子（藤が丘病院へ）
- 泌尿器科：大水円夏（横浜市北部病院へ）●循環器内科：正司真（藤が丘病院へ）、森敬善（藤が丘病院へ）
- 消化器・一般外科：齊藤和彦（横浜市北部病院へ）、小澤慶彰（横浜市北部病院へ）

【学外研修へ】2020年4月1日付

- 糖尿病・代謝・内分泌内科：江波戸彩乃、高橋範之、小澁正和 ●眼科：太田博之 ●リウマチ・膠原病内科：河森一毅
- 腫瘍内科：平澤優弥 ●消化器内科：中谷溪、中山顕皓、野口敏宏、樋口健佑 ●リハビリテーション科：岩屋毅
- 腎臓内科：林純一 ●循環器内科：新井帝東、酒井陸郎、杉山拓土、千野沙織 ●脳神経内科：澤井綾子
- 整形外科：岡本怜士、岡田拓巳、平船佑季、百々悠介、豊田仁志、荻原陽、志賀研人、宮上真、小山真平、西田甫、中村彰太、宮本庸平、明妻裕孝、小澤静香、田中潤、木村太郎、荒井毬花 ●消化器・一般外科：藤政浩一朗
- 乳腺外科：鶴我朝子 ●麻酔科：今井桃花 ●小児科：日隈のどか、大塚康平 ●心臓血管外科：山崎裕起
- 小児外科：鳴釜ゆり子 ●産婦人科：茨城麻綾 ●形成外科：渡井彩

退職

2020年3月31日付

- 感染症内科：二木芳人 ●臨床病理診断科：瀧本雅文、三浦咲子 ●リハビリテーション科：田中雅子
- 整形外科：鈴木達矢、澁木崇史、貴島健、福田悠甫、齋藤創造 ●脳神経内科：所澤任修 ●精神神経科：蕎麦田明香
- 歯科麻酔科：八尾敬子 ●腎臓内科：眞田大介、福田桂、井上隆、山本康隆、青木崇吾 ●循環器内科：大沼善正
- 産婦人科：近都真侑、小暮剛太、豊澤秀康、清水信義、濱野千祥 ●放射線科：保坂憲史
- 麻酔科：新原史大、藤澤美結、稲木七生、稲村ル斗、善山栄俊、汲田翔 ●リウマチ・膠原病内科：谷口夢子
- 小児科：玉井哲郎 ●呼吸器・アレルギー内科：菅沼宏充、賀嶋絢佳、山本成則、江波戸貴哉
- 小児循環器内科：山口英貴、柿本久子 ●消化器内科：宇佐美智乃 ●血液内科：阿部真麻 ●耳鼻咽喉科：新井佐和

サクス！グッドプラクティスパートナー

今後、病院内各部署へ「他職種で感謝している人はだれですか？」を問うアンケートを院内職員に向けて実施します。

このコーナーでは、名前が挙がった職員を紹介する予定です～

目的：当取り組みは、昭和大学病院・附属東病院において関係職種間での行動（臨床に関する事項）を相互にプラス評価することにより、関係部署との連携を良好にし、チーム力を高めることで患者さんにより良い医療を提供することを目的としております。



今後掲載予定です。
皆さま、
乞うご期待ください。

お知らせ

患者さんよりいただきました



当院で手術をされた患者さんより、オリジナルのポケットティッシュを寄贈いただきました。脳神経外科の医局にお渡しさせていただきました。ありがとうございました。



開催報告

緩和ケア研修会を開催しました

2020年2月9日（日）昭和大学病院にて、「がん診療等に携わる医師等に対する緩和ケア研修会（以下、「緩和ケア研修会）」を開催いたしました。

事前にインターネット上のe-learningを受講した上で参加していただき、当日は、院内外から集まった計25名の参加者と、ファシリテーターの先生方とともに、演習を中心としたプログラムを行いました。

参加者からは「貴重な体験ができた」「明日から実際の診療に活かせるように頑張りたい」といった感想があがり、大変有意義な研修会となりました。

当院は「がん診療連携拠点病院」に認定されているため、年2回の緩和ケア研修会を開催しております。（次回は、2020年6月の開催を予定しております。）



開催報告

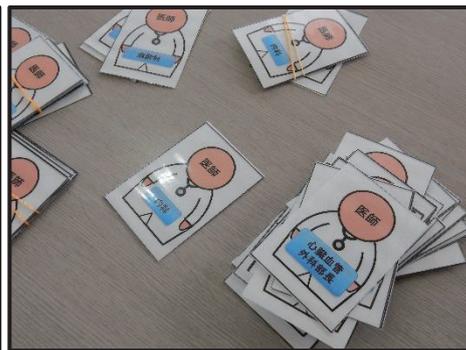
エマルゴコース研修を開催しました

2020年2月15日（土）昭和大学病院・附属東病院にて、「エマルゴコース研修」を開催いたしました。エマルゴコース研修とは、人形や医療材料を模したグッズを用いた机上災害訓練で、当院での開催は昨年に引き続き4回目となります。今回は、院内の教職員37名と、全国から集まっていたインストラクターの方々とともに行なわれました。

今回の訓練では、震度5強の地震が発生し、その影響により、旗の台駅付近で東急池上線の脱線衝突事故が起こるといった想定で行われました。

本研修は、自分の所属部門以外の部署の動きを経験することができます。参加者の事後アンケートでは、「他部署の災害時対応を知ることで、災害対策の全体像を見ることができた。」「災害対策をリアルに実感でき、防災に対する意識が高まった。」などの感想が多くあがりました。

地域の災害拠点病院として、災害発生時には的確かつ迅速な対応が求められるため、今後もこのような災害訓練を行ない、災害対策の意識を高めてまいります。



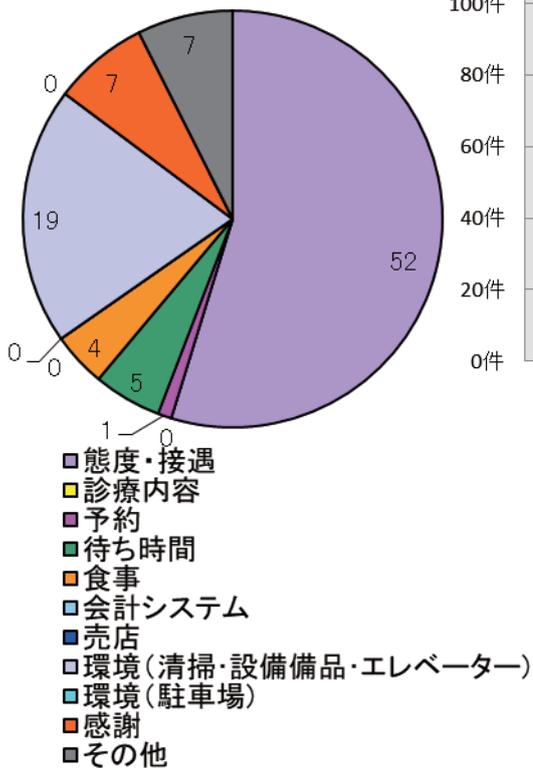
ご意見・ご要望	回答	回答部署
<p>面会時、咳をしている人に対してマスク着用を促して欲しいです。</p>	<p>不快な思いをさせてしまい大変申し訳ございませんでした。家族への面会については、入院時などに入院案内冊子の記載を基に指導をしております。不足の場合は、大変申し訳ありませんがご指摘いただけましたら、すぐに対応いたします。また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染者増加に伴い、面会は原則禁止としていただき、面会を許可する特別な場合は、手洗い、手指衛生、マスク着用の徹底をお願いいたします。</p>	<p>管理課</p>
<p>別の病院で治らなかった顔面けいれんの再手術をして頂きました。副作用が出て再入院となったときに不安な気持ちをお伝えしたら、医師の方が共感して下さった上で丁寧な説明をしてくださいました。おかげで心配が消え、安心して治療に望むことができました。リハビリの方や看護師の皆さんにも温かくお声がけ頂いて心強かったです。</p>	<p>この度は、お褒めの言葉を頂きありがとうございました。治療や環境の変化からの不安に関わらせてもらい、少しでも軽減となったこと大変嬉しく思います。今後も患者さんに安心をご提供できるよう努めて参ります。</p>	<p>看護部</p>

2020年4月号掲載分

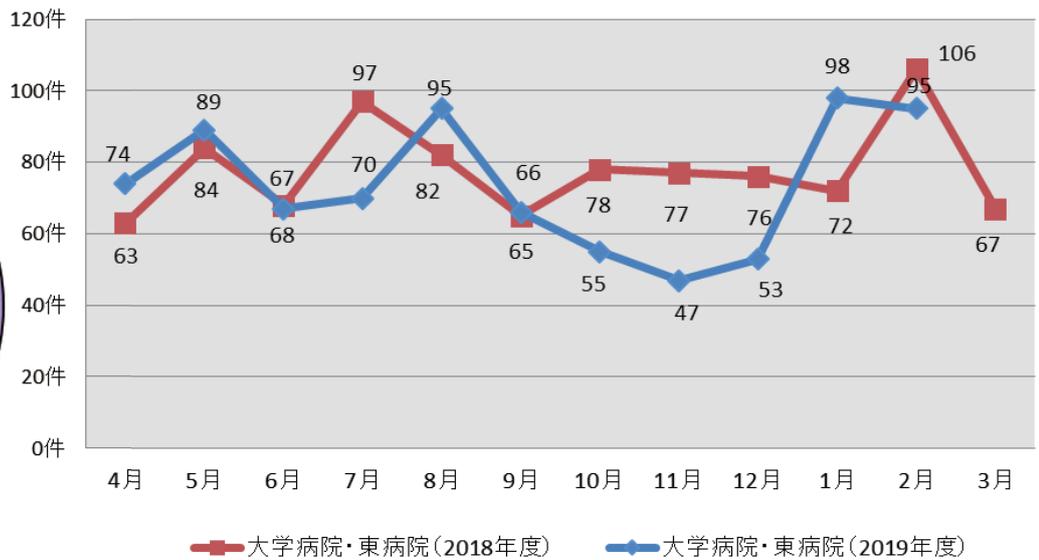
ご意見・ご要望の内訳

昭和大学病院・東病院総件数

95件



2018年度・2019年度ご意見・ご要望の推移



当院におけるゴールデンウィークの診療体制について、以下の通りといたします。

5月2日（土）通常診療日（土曜日診療体制）

5月3日（日）休診日

5月4日（月）特別診療日

5月5日（火）特別診療日

5月6日（水）特別診療日

5月7日（木）通常診療再開

※詳細は昭和大学病院のホームページをご覧ください。
ご理解いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



編集後記

放射線技術部 部長 さとうひさや 佐藤久弥

4月に入りすがすがしく春風が心地よく感じます。病院周りの新緑も春風にふかれ生き生きとしているように見えます。

さて、大学病院・東病院においても多くの新人が入職してきました。

新入職員の真新しい白衣や制服がまぶしく、活気ある挨拶や意気込み、さらに周りを明るくしてくれるすがすがしい笑顔が、春風のように病院内を心地よく流れています。その風にのり、今年度も昭和大学・東病院は安全・安心な医療を患者さんに提供できることと思います。さあ職員一同、一丸となって頑張りましょう。

昭和大学病院・附属東病院の理念

- 患者本位の医療
- 高度医療の推進
- 医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- 患者さんと共にチーム医療を実践する。
- 特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- 教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- 人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

※記事見出しの色分けについて

病院だよりでは、見出しに色分けをすることで読者の皆様が読みやすいよう工夫をしております。

黄色見出し：患者さん、患者さんのご家族向け

青色見出し：医療関係者向け

緑色見出し：医師の配属・異動・退職について

病院広報委員会委員： 稲垣 克記、大江 克憲、大嶽 浩司、岡崎 靖子、五藤 哲、佐々木 仁美、佐藤 久弥、嶋村 弘史、鈴木 隆、鷺見 賢司、富田 英、中村 清吾、樋口 恵子、水庭 隆史、山岸 昌一、吉田 仁、渡辺 愛理、渡邊 聡、渡邊 裕之（50音順）



昭和大学病院

検索



昭和大学病院附属東病院

検索

発行 昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院

発行責任者 昭和大学病院長 相良 博典

編集責任者 広報委員長 中村 清吾

〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8

TEL：03-3784-8000（代表）